

公表 業所における自己評価結果

事業所名		TOTOFULL			公表日	2025年 3月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		療育内容やお子様の特性に合わせ、部屋の大きさを選べるよう、空間の工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		お子様が活動に集中できるように、視覚的な刺激を減らすなどの環境設定をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎指導、振り返りと評価を行い、それを元に次の指導へのプログラムを作成しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者アンケートの内容を確認し、改善の為に話し合いを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝礼時に、気になった事や意見を出し合う機会を設けています。管理者との面談を定期的実施し、職員の意見を把握する機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在、第三者評価はおこなっておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		入社時の新人研修やABAの研修等を実施しています。	研修頻度が少ないため、今後は研修機会を増やしていけるよう努力致します。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		HPへの掲載と、保護者への配布で周知を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		毎指導、保護者の意見を聞き取り指導の評価を行い、記録に残していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		毎指導の評価や記録、発達検査の結果を用い、アセスメントを実施しています。	アセスメントに用いる標準化されたツールの種類を増やして行きたいと思っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		個別療育のプログラム立案は担当指導員が行い、毎指導ごとに児発管やその他職員と確認、相談を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		お子様のニーズや特性、その他の興味関心にあわせ毎指導プログラムを立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		基本的にはマンツーマンの個別療育を実施しているが、お子様の課題にあわせて、複数人数での指導も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝礼時に、その日来所予定のお子様の現状、やその日実施予定の指導内容を確認、共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		指導終了後、指導の評価、お子様の様子を記録し職員全員が把握出来る様、共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎指導後、様子や指導の評価を記録し振り返りや、プログラムの見直しを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児発管や担当指導員が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		他事業所や、保育園、幼稚園等と必要に応じて連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、就学引き継ぎシートを作成し小学校へ共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援センターに訪問し、併用利用しているお子様の情報共有や助言を受ける機会を設けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		今後交流機会があれば、参加出来る様に致します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		毎指導、保護者との情報共有や相談を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>	現在、ペアレントトレーニングは行っていませんが、モニタリングスペースを設け、毎指導、保護者に指導員の子どもへの関わり方を見て頂いたり、相談にも応じています。	今後、保護者の参加可能な研修等も検討していきます。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎指導、保護者との情報共有や相談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△		同じ就学先の保護者同士が情報共有出来る機会等を設けています。	更に多くの保護者様の交流の機会や、情報交換が出来る仕組み作りなども検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		気になることや相談があればいつでもお声がけ頂く様にお伝えしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		今後、SNSでの発信も積極的に行っていくよう努力致します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施設外への個人情報書類持ち出し、施設外での利用者に関するの会話等を禁止しています。書類等は鍵付き書庫、または持ち出し禁止のPCのみで管理しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		月2回、地域の子どものたちの遊び場、保護者の相談場所として、子育てひろばを行っています。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	△		各マニュアルを策定し、職員に周知しています。又、契約時に緊急時対応のご説明を行っています。	保護者への周知不足があるため、再度マニュアル等についてご説明行います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		セルバ全体での避難訓練とTOTOFULL職員のみでの避難訓練を年2回に実施しています。子どもに対しては、地震発生時の訓練として机の下に潜る等の練習を年1回実施しました。	引き続き、定期的に避難訓練を実施します。子どもも交えた避難訓練も検討していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に記入頂く問診表にて確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事の提供は行っていませんが、契約時に記入頂く問診表でアレルギーについて確認を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、訓練等を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	△		保護者同伴での療育のため、連携が図られる体制となっています。	安全計画についての周知は不十分なため、今後保護者へのご説明を行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの詳細、対応、対策を共有し、再発防止に活かしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束についてのご説明を行っています。	